

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2001-1673 (P2001-1673A)
 【公開日】平成 13 年 1 月 9 日 (2001.1.9)
 【出願番号】特願 2000-120046 (P2000-120046)
 【国際特許分類第 7 版】

B 4 2 D 15/10

【F I】

B 4 2 D 15/10 5 0 1 H

B 4 2 D 15/10 5 0 1 J

B 4 2 D 15/10 5 0 1 K

B 4 2 D 15/10 5 0 1 P

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 5 月 12 日 (2004.5.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 6】

これと共に、カード完成後の表面保護性が図 3 B に示す他の顔画像入りカード 1 0 3 に比べて向上する。図 3 B に示す顔画像入りカード 1 0 3 はホログラム像 1 3 の偽変造防止箔 1 3 A 及び硬化型保護層 1 2 を各々一層にずつ形成したものである。多重にするものは硬化型保護層 1 2 のみに限られることはなく、所定膜厚の硬化型保護層 1 2 と偽変造防止箔 1 3 A とを組み合わせると多層にしてもよい。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 7】

図 8 は熱転写シート 2 0 0 のハーフカット例を示す概念図である。この例では、カード基板 1 1 の外形状を模写した切り込みが硬化型保護部材 1 2 に施される。この切り込みは、接着層 1 4、ホログラム形成層 3 及び硬化型保護層 1 2 に施され、支持体 1 6 には形成されない。支持体 1 6 の本来の支持機能を損なうからである。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 8】

この切り込みはカード基板外形状を模写したカッターなどを使用してシャープに形成され、図 8 に示す熱転写シート 2 0 0 の硬化型保護部材 1 2 に対して実際のカード基板 1 1 よりも小さい寸法で施される。これは外バリ及び内バリを無くするためである。これにより、カード基板 1 1 の外形状を成す大きさに硬化型保護部材 1 2 を画定することができる。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 8 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 8 7 】

カード基板 1 1 の裏面にはサインパネルや、運転免許証の筆記層などが設けられる場合もある。この例では、カード基板 1 1 が 1 枚ずつ生カード供給部 4 2 から搬送ベルト装置 4 1 へ投下するように自動供給される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 0 7 】

この例でも、熱転写シート 2 0 0 には、紫外線硬化層を有した転写箔及び偽変造防止箔が設けられたもの、予めカード基板 1 1 の外形状を成す大きさに硬化型保護部材 1 2 が画定されたもの、その外形状を模写した切り込みが施されたもの、その際の切り込みが、実際のカード基板 1 1 よりも小さい寸法で施されたもの、及び、位置決め用の開孔部 3 7 が設けられたものが使用される。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 6 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 6 4 】

この実験結果によれば、硬化型保護層 1 2 の膜厚 T_h が $T_h < 0.5 \mu m$ ときはバリが発生するが支障はない。しかしながら、 $T_h < 0.5 \mu m$ ときは転写温度 T_x に関して 90 , 100 , 190 , 230 , 250 のいずれの場合も膜付き性が劣化し、カード表面から硬化型保護層 1 2 が容易に剥がれてしまったり、転写時に支持体に変形する原因となる。